

(様式4)

## 平成30年度自己評価結果報告書

学校名 湯梨浜町立東郷小学校

校長名 谷口 章人 印

### 1. 学校の教育目標

人間性豊かな心と自ら考え正しく判断できる力を培い、心身ともに健やかでたくましい児童の育成

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

#### ◎経営の重点

○「自分の学びを高めようとする」児童の意欲向上をめざす学校

○特別な支援を必要とする児童の指導に関する研修を積み上げ、一人一人の児童の力を伸ばしていく

(1) 学ぶ意欲の向上と確かな学力の向上 (学びの力づくり)

(2) 支え合い高め合う人間関係づくり (豊かな心づくり)

(3) 健やかな体づくり (健康な体づくり)

(4) 地域に根ざし開かれた学校づくり (地域との連携・活動の推進)

(5) 学習指導要領実施に向けた取り組み

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
<b>(1) 学ぶ意欲の向上と確かな学力の向上</b> ①算数科を中心とした授業改善の推進	B	<b>①について</b> <b>【成果】</b> ・全学級授業研究会を行うとともに、すべての研究会に外部指導助言者を招聘し、客観的に授業評価を行うことを通して授業改善を推進することができた。 ・式や図、絵を用いて、自分の言葉で相手に伝わるように発表する児童が増えた。(教師アンケートより) ・保護者アンケート「わかりやすく子どもが意欲的に取り組む指導」 <b>肯定的回答 88.4%</b> ・児童アンケート「先生は、わかりやすく教えてくれる」 <b>肯定的回答 97.4%</b> <b>【課題】</b> ・「伝え合い」という点ではまだまだ十分ではない。(教師アンケート) ・鳥取県算数診断テストの県平均との比較において、下回った学年が2学年ある。
②基礎学力 (漢字・計算など) の定着		<b>②について</b> <b>【成果】</b> ・保護者アンケート「学校は、子どもに基礎的な学力が

		<p>つく指導を行っている」肯定的回答 90.7%</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童アンケート「学校の勉強はよくわかる」肯定的回答 88.7%</li><li>・算数科児童アンケート「算数に自信がある」肯定的回答で1, 3年が100%</li><li>・教研式標準学力検査結果(NRT)の国語、算数は、すべての学年において偏差値平均が全国平均を上回った。</li><li>・パワーアップタイムを活用し、漢字、計算、音読、暗唱など、つけたい力を意識した指導ができた。</li></ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・鳥取県算数診断テスト「式と計算」領域において、県平均を下回った学年が3学年ある。</li><li>・鳥取県国語診断テスト「書字」「読字」領域において、県平均をともに下回った学年が2学年ある。</li></ul>
<p><b>(2) 支え合い高め合う人間関係づくり</b></p> <p>①自分も友だちも大切に作る温かい人間関係にあふれた学級づくりをめざし「学級力」向上の取り組みの工夫改善の推進</p> <p>②特別な支援を必要とする児童の指導に関する研修を積み上げ、一人一人の児童の力を伸ばしていく</p>	<p>B</p>	<p>①について</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・年度当初に職員研修を行い「学級力」向上の取組について共通理解を図り、年間を通して児童に意識化できた。</li><li>・「学級力」向上に係る先進校視察を行い、実践過程で出てきた疑問を解決しながら取り組みを深めた。</li><li>・保護者アンケート「学校は子ども一人一人を大切に、認め合う学校づくりを進めている」肯定的回答 90.3%、「お子さんは、学校が楽しいとか仲のよい友達がいるとか言っている」肯定的回答 92.7%</li><li>・児童アンケート「学校にはなかよしの友達がいる」肯定的回答 97.0%、「生活や学習について、今の自分より少しでも良くしていこうとしている」肯定的回答 89.8%</li></ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童アンケート「自分は誰かの役に立っていると感じることがある」肯定的回答 71.2%</li></ul> <p>②について</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保護者の理解のもとに支援会議や外部機関、専門家との連携を図るなどし、個に応じた支援を行うことができた。</li></ul>

		<ul style="list-style-type: none"><li>・鳥大医学部附属病院の臨床心理士大羽沢子氏を講師に授業のユニバーサルデザイン研修を実施し、学んだノウハウを日々の授業に生かすことができた。</li><li>・保護者アンケート「学校は子ども一人一人を大切にし、認め合う学校づくりを進めている」 <b>肯定的回答 90.3%</b></li><li>・児童アンケート「先生は私たちの話をよく聞いてくれる」 <b>肯定的回答 94.4%</b></li></ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校組織として対応、また外部機関等とも連携して指導をしているが、不登校児童1名、不登校傾向児童5名。要因が複雑化しており今後とも、児童の小さな変化を見取る教職員の力量向上が必要。</li></ul>
<p><b>(3) 健やかな体づくり</b></p> <p>①自分のめあてを持ち、継続して運動に取り組む意欲と安全意識の向上</p>          <p>②望ましい生活習慣の形成</p>	<p>A</p>	<p>①について</p> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保護者アンケート「学校は、縦割り班活動や業間運動などの教育活動で、子どもの心や体を育てている」 <b>肯定的回答 94.2%</b></li><li>・新体カテストのシャトルラン（持久力）において6学年男女別のほとんどで全国を上回った。（10/12）</li><li>・各種大会等での上位入賞者が増加傾向。</li></ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童アンケート「天気の良い日は、休憩時間、外で遊んでいる」 <b>肯定的回答 65.9%</b></li></ul> <p>②について</p> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保護者アンケート「学校は、子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度の育成に努めている」 <b>肯定的回答 92.6%</b></li><li>・児童アンケート「学校に来るのが楽しい」 <b>肯定的回答 86.8%</b></li><li>・朝食を「まったく食べない」「ほとんど食べない」児童の減少 5月 約3% → 12月 約1.8%</li></ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保護者アンケート「早寝・早起き・朝ごはんなど、正しい生活習慣が身についている」 <b>肯定的回答 77.7%</b>、「お子さんは、元気のよいあいさつや返事ができる」 <b>肯定的回答 73.1%</b></li></ul>

(様式4)

<p><b>(4) 地域に根ざし開かれた学校づくり</b>          ①学校・家庭・地域との連携の推進          ②学校支援ボランティアの活用</p>	A	<p>①②について  <b>【成果】</b>          ・コミュニティ・スクール初年度に当たり、学校運営協議会を組織し、委員や保護者、地域の方々の理解と協力のもとに、地域に根ざし開かれた学校づくりを進めることができた。また、専門部を立ち上げ、ルックチルドレン隊の発足や授業ボランティアによる支援などを行っていただき、力強い初年度となった。          ・保護者アンケート「学校は、参観日や各種便りなどで、子どもたちの様子をよく伝えている」<b>肯定的回答 96.5%</b>          ・学校ホームページ更新年回 100 回達成。  <b>【課題】</b>          ・保護者アンケート「私は、PTA活動に積極的に参加している」<b>肯定的回答 70.4%</b></p>
<p><b>(5) 新学習指導要領実施に向けた取組</b>          ①新学習指導要領実施に向けた取組</p>	A	<p>①について  <b>【成果】</b>          ・平成 32 年度全面実施に先立ち、5, 6 年生で外国語、3, 4 年生で外国語活動を全面実施した。授業ノウハウや教材の蓄積、ALT の活用など実践を積み重ねることができた。          ・カリキュラムの見直しは、計画通り進んだ。  <b>【課題】</b>          ・新学習指導要領対応備品の計画的整備が必要。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	<p>経営の重点として、「自分の学びを高めようとする」児童の意欲向上をめざす学校「特別な支援を必要とする児童の指導に関する研修を積み上げ、一人一人のばしていく」の2点を定め、前記のような取組を行ってきた。</p> <p><b>【成果】</b>          ・児童の学びに向かう態度が向上しており、それを自らが実感できている。          ・また、保護者も、アンケートより本年度の東郷小学校教育について一定の評価をいただいていると捉えている。<b>(東郷小学校教育の満足度 肯定的回答 91.4%)</b>          ・教研式標準学力検査結果(NRT)の国語、算数は、すべての学年において偏差値平均が全国平均を上回った。          ・校長として「東郷小学校進化計画」と称し、児童に「①明るいあいさつ元気よく」②</p>

(様式4)

	<p>力いっぱい勉強」「③そうじは大事」の3つをあらゆる場面で伝えてきた。①、②は昨年通り肯定的回答が増加した。</p> <p>&lt;児童アンケートより&gt;</p> <p>「学習中にわからないことをそのままにしないで解決している」 肯定的回答 88.7% (昨年度比+1.5%)</p> <p>「学習中、先生や友達の話をしっかり聞いている」 肯定的回答 93.2% (昨年度比+0.7%)</p> <p>「友達や先生に聞こえる大きな声で発表ができる」 肯定的回答 80.5% (昨年度比+2.8%)</p> <p>「先生はわかりやすく教えてくれる」 肯定的回答 97.4% (昨年度比+4.1%)</p> <p>「朝や帰りに、先生や友達に自分から笑顔であいさつをしている」 肯定的回答 84.6% (昨年度比+3.7%)</p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自尊感情を育てていく営みを継続することが必要。</li> <li>・ 児童アンケート「自分は誰かの役に立っていると感じることもある」 肯定的回答 71.2% (昨年度比-1.1%)</li> <li>・ 不登校傾向児童5名、不登校児童1名の状況。保護者や学校組織として対応、また外部機関等とも連携して指導をしているが、要因が複雑化しており今後とも、児童の小さな変化を見取る教職員の力量向上が必要。</li> </ul>
--	---

◎「3・4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
(1) 学ぶ意欲の向上と確かな学力の向上 (学びの力づくり)	・ 授業改善への取組の継続 (ユニバーサルデザインの視点を取り入れた算数学習の研究)
(2) 支え合い高め合う人間関係づくり (豊かな心づくり)	・ 「学級力」向上の取組の継続 ・ 児童の自尊感情育成の取組の継続 ・ 不登校児童等を生まない学校体制づくりの強化 ・ 特別な支援を必要とする児童の指導の工夫改善
(3) 健やかな体づくり (健康な体づくり)	・ 保護者と連携した児童の基本的な生活習慣の改善
(4) 地域に根ざし開かれた学校づくり (地域との連携・活動の推進)	・ コミュニティ・スクールのメリットを生かした学校運営 ・ PTAとの更なる連携
(5) 学習指導要領実施に向けた取り組み	・ 外国語、外国語活動における教員の指導法の習熟 ・ 新学習指導要領カリキュラム完成